

第1学年 「きいて ほしいな」

5 本時案 (3/3)

- (1) ねらい 経験したことをみんなの前で、ていねいな言い方で話すことができる。話し手の方を見て、最後まできちんと聞くことができる。
- (2) 準備物 経験したことをかいた絵カード、おじいさん・おばあさんの絵カード

(3) 学習過程

第2学年 「文をつくろう」

5 本時案 (3/3)

- (1) ねらい 主語と述語のつながりに気をつけて、クイズ「わたしはだれでしょう」の問題文を作り、1年生に発表することができる。
- (2) 準備物 練習問題(文作りゲーム)、問題文の作り方(児童提示用)問題文作成ワークシート

(3) 学習過程

教師の支援と評価	学習活動・内容	過程	学習活動・内容	教師の支援と評価
<p>○今度訪問する「ふれあいサロン」のおじいさん、おばあさんにわかりやすく話すためには、どのような話し方がよいか話し合い、具体的な話し方のめあてをつかむよう支援する。</p>	<p>1 話し方のめあてを確認する。 ・ていねいな言い方 ・声の大きさ ・話す速さ ・はっきりした発音、発声</p>	つかむ・見通す	<p>1 教科書以外の練習問題(文作りゲーム)に取り組む。 ・主語と述語の正しい組み合わせ</p>	<p>○自分で答え合わせをする前に、作った文を声に出して読む習慣をつけさせ、意味が伝わる文になっているか確認していくよう支援する。</p>
<p>ていねいな言い方で、わかりやすく話しましょう。</p>	<p>2 各自で話し方の練習(3回)をする。 ・絵カードをもって ・聞き手の方を向いて ・話し方のめあてを意識して ・自分の話し方のチェック</p>		つかむ・見通す	<p>2 学習のめあてを確認する。 ・クイズ「わたしはだれでしょう」の問題文(ヒント)作り ・主語と述語が正しくつながる文 ・3つの問題文(ヒント)</p>
<p>○聞き手の方向と話し方のめあてを意識させるために「おじいさん・おばあさんの絵カード」(話し方のめあても提示したもの)を廊下に用意しておく(4カ所)。 ○自己評価(話し方)カードを用意し、3回話した児童は自分の話し方をチェックさせる。(◎○△)</p>	<p>3 聞き方のめあてを確認する。 ・話し手の方を見て、最後まで ・はじめと終わりには拍手をして 「いつ」「どこで」「だれと」「何をした」「どう思った」等、大事なことを落とさず</p>	調べる	<p>3 問題文(ヒント)作りに取り組む。 ・クイズの答え(出題する問題)の決定 ・出題する問題の特徴(いろいろな観点)考察 ・主語と述語に気をつけた文作り ・3つの問題文(ヒント)の順序決定</p>	<p>論理的な思考力や表現力が発揮される場面</p> <p>○「一人学び」がスムーズに進むように、問題文(ヒント)の作り方を提示しておく。</p> <p>○問題文作成ワークシートに参考となる観点(場所、形、色、大きさ、素材、模様、用途)を示しておき、その中から選べるようにしておく。</p> <p>○1つめのクイズができたなら、2つめ、3つめのクイズ作りに挑戦していくよう励ます。</p>
<p>○聞き手は、話の途中で言葉をはさまないで、最後までしっかり聞き、はじめと終わりには拍手をするなど、児童に「自分が話しやすい」「自分がそうしてもらえると嬉しい」と感じる聞き方について考えさせたい。</p> <p>話し手の方を見て、最後まできちんと聞きましょう。</p>	<p>4 経験したことをみんなの前で、ていねいな言い方でわかりやすく話す。</p>		調べる	<p>4 1年生にクイズ「わたしはだれでしょう」を出題する。</p>
<p>論理的な思考力や表現力が発揮される場面</p> <p>□評 経験したことを相手にわかるように話すことができたか、また、話し手を見ながら、話を最後まで聞くことができたか、発表の様子から確かめる。(発言・態度)</p> <p>○友だちの話のよいところを見つけられる児童は、「聞き上手」であることを伝える。</p>	<p>5 友だちの話聞いて、よいところを発表する。</p>	生かす	<p>6 2年生のクイズ「わたしはだれでしょう」を聞いて、答えを考える</p>	
<p>□評 進んで答えたり質問したりしてクイズに参加しているか確かめる。(発言・態度)</p>				